

平成11年度 (1999年度)

シンポジウム

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成11年 11月16日 (火) 参加者 161名	『脳の幹細胞ー脳の再生医学への道ー』 ー 演題 ー ・神経幹細胞の同定とその神経疾患への応用 ・成熟動物における神経幹細胞の再生 ー 分化転換と網膜再生 ー ・神経幹細胞の発生・分化・再生  ・ラット海馬由来神経系幹細胞の分離・培養 と神経分化過程の解析 ・成体幹細胞を用いたドーパミン作動性ニュー ロン分化機構の解析 ・パーキンソン病に対する神経移植再生療法	大阪大学医学大学院医学系研究科 神経機能解剖学 教授 岡野 栄之 ー 講師 ー 大阪大学医学大学院医学系研究科 神経機能解剖学 教授 岡野 栄之 理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー 梶原一人 東京大学大学院医学系研究科 神経生物学 助教授 中福 雅人 京都大学大学院医学研究科 脳神経科 高橋 淳 協和醗酵工業(株)東京研究所 遺伝子G研究員 桜田 一洋 岡山大学医学部附属病院 脳神経外科 助手 伊達 勲

2. セミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成11年 5月17日 (月) 参加者 53名	『細胞内シグナルの制御 ーユビキチンとプロテアソームー』 ー 演題 ー ・ユビキチン：新しい蛋白修飾システム  ・APCとスピンドル形成チェックポイントによ る細胞分裂制御 ・p53のユビキチン依存的分解機構 ・SCF複合体によるユビキチン化  ・プロテアソームと授精・発生制御 ・プロテアソームの分子細胞生物学	東京都臨床医学総合研究所 研究部長 田中 啓二 国立遺伝学研究所分子遺伝研究系 助教授 山尾 文明 ー 講師 ー 国立遺伝学研究所分子遺伝研究系 助教授 山尾 文明 理化学研究所ライフサイエンス 筑波研究センター 副主任研究員 戸所 一雄 東京薬科大学生命科学部教授 安田 秀世 九州大学生体防御医学研究所 教授 中山 敬一 北海道大学大学院薬学研究科教授 横沢 英良 東京都臨床医学総合研究所 研究部長 田中 啓二
7月1日 (木) 参加者 112名	『免疫システムとケモカイン』 ー 演題 ー ・ケモカインoverview：炎症から免疫制御分子 としてのケモカイン ・新規ケモカイン・ケモカイン受容体 ・免疫細胞の動態制御機構ー接着分子とケモカ インのクロストーク ・T細胞・樹状細胞のホーミング不全と免疫応 答ーSLC欠損pltマウスを用いてー ・腫瘍免疫とケモカイン ・造血、血管形成に必須のケモカインSDF-1/PBSF	東京大学医学部 教授 松島 綱治 ー 講師 ー 東京大学医学部 教授 松島 綱治 近畿大学医学部 教授 義江 修 大阪大学医学部 教授 宮坂 昌之 東邦大学医学部 助手 中野 英樹 大阪大学医学部 助教授 藤原 大美 大阪府立母子保健総合医療センター研究所 部長 長澤 丘司
10月15日 (金) 参加者 74名	ブレインサイエンスシリーズ 第12回 『神経難病の最前線ー治療と創薬に向けて』 ー 演題 ー ・虚血性神経細胞死とその制御機構 ・アルツハイマー病発症機構の分子生物学的 解析 ーPresenilin変異体の解析を中心としてー ・ポリグルタミン病発症の分子機構  ・精神分裂病の分子メカニズムを探る	大阪大学医学部 教授 遠山 正彌 ー 講師 ー 大阪大学医学部 助教授 玉谷実智夫 田辺製薬株式会社 創薬研究所 グループリーダー 今泉 和則 大阪バイオサイエンス研究所 部長 垣塚 彰 国立精神・神経センター 神経研究所 部長 西川 徹

	<ul style="list-style-type: none"> <li>多発性硬化症とその実験モデルにおける免疫調節細胞</li> <li>運動ニューロン疾患の病態発現機構と治療への展望</li> <li>孤発性および家族性パーキンソン病の発症機構</li> </ul>	国立精神・神経センター 神経研究所 所長 田平 武 名古屋大学医学部 教授 祖父江 元 順天堂大学医学部 教授 水野 美邦
平成12年 1月14日 (金) 参加者 153名	『アポトーシスの細胞シグナルと感染』 — 演題 — <ul style="list-style-type: none"> <li>アポトーシスにおけるミトコンドリアから核への情報伝達機構</li> <li>発生と病態におけるカスパーゼ活性化機構</li> <li>神経細胞の生存シグナル伝達</li> <li>アポトーシスにおける染色体DNAの分解</li> <li>アルツハイマー病と神経細胞死シグナル</li> <li>エンドトキシン受容体からのシグナル伝達</li> </ul>	大阪大学大学院医学系研究科教授 長田 重一 大阪大学大学院医学系研究科教授 辻本 賀英 — 講師 — 大阪大学大学院医学系研究科教授 辻本 賀英 大阪大学大学院医学系研究科助教授 三浦 正幸 東京大学分子細胞生物学研究所 助教授 後藤由季子 大阪大学大学院医学系研究科教授 長田 重一 田辺製薬株式会社 創薬研究所 グループリーダー 今泉 和則 大阪大学微生物病研究所 教授 審良 静男

### 3. 技術講習会

実施月日	テーマ・演題	協賛企業&講師
第19回 平成11年 6月24日 (木) 参加者 35名	『DNAチップの最新技術(Ⅰ)』 —超高密度オリゴヌクレオチドアレイによる遺伝子発現解析— — 演題 — 1. GeneChipシステムの概要 2. チップの製造技術 3. 遺伝子発現解析のためのサンプル調製法 4. GeneChipシステムでのデータ解析 5. Affymetrix社のBioinformatics(LIMS/EDMT) 6. GeneChipのアプリケーション紹介 デモンストレーション GeneChipへのサンプル注入とワークステーションの操作	アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社 — 講師 — アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社 加藤 哲雄、梶江 慎一 三浦 和久、山崎 久人
第20回 6月25日 (金) 参加者 31名	『プロテオミクス解析：タンパク質の同定と構造解析』—二次元電気泳動法を中心に— — 演題 — 1. プロテオミクス解析の概要 2. 二次元電気泳動法について 3. たんぱく質の構造解析 4. 画像解析とデータ処理法 デモンストレーション 1. 二次元電気泳動 2. サンプル調製法	アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社 — 講師 — アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社 村上 香、大島 典子 宮崎 昭、番澤 貴子
第21回 9月17日 (金) 参加者 33名	『蛍光偏光分析技術』 — 演題 — 1. 環境ホルモン分析の概要 2. 蛍光偏光度測定について 3. 環境ホルモンのエストロゲンレセプターへの結合試験 4. 種々の混合系試料からの試験サンプル調製 デモンストレーション 1) BEACONを用いたエストロゲンレセプター結合試験 2) 結果の解析とデータ処理	宝酒造株式会社 — 講師 — 宝酒造株式会社 近藤 昭宏、榎 由樹、辻本 善政
第22回 平成12年 2月17日	『DNAチップの最新技術(Ⅱ)』 —スポットチングによるDNAチップ作成技術と遺伝子発現解析—	宝酒造株式会社

<p>(木) 参加者 34名</p>	<p>－ 演題 － 技術解説 ・ スポッチングによるDNAチップ作成方法の概要説明 ・ DNAチップを用いた実験方法の概要説明 ・ DNAチップを用いた実験例の紹介 実演 ・ GMS 417 Arrayer を用いたDNAチップ作成 ・ GMS 418 Array Scanner を用いたDNAチップ読み取り ・ ImaGene を用いたデータ解析</p>	<p>－ 講師 － 宝酒造株式会社 バイオ研究所 主任研究員 峰野 純一</p>
----------------------------	---	--

4. 新適塾

(1) 千里神経懇話会

実施月日	テーマ・演題	オーガナイザー・講師
<p>第34回 平成11年 5月18日 参加者 67名</p>	<p>『虚血性神経細胞死とその制御機構』</p> <p>－ 演題 －</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 低酸素による神経細胞死のメカニズム：Bcl-2ファミリーとORP150の役割</li> <li>2. 一酸化窒素による神経細胞死とIGF-1の保護機構について</li> <li>3. 砂ネズミ前脳虚血モデルにおける遺伝子発現の変化 -中等度脳低温療法の効果について-</li> <li>4. 低酸素ストレスで誘導されるタンパクのクローニング</li> </ol>	<p>大阪大学大学院医学系研究科 機能形態学講座 玉谷美智夫 － 講師 － 玉谷美智夫</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 機能形態学講座 松崎 秀夫</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 生体機能調節医学講座 青木 正之</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 機能形態学講座 山口 淳</p>
<p>第35回 7月19日 参加者 86名</p>	<p>『神経細胞死と神経変性疾患』</p> <p>－ 演題 －</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リグルタミン病における神経細胞死の分子メカニズム</li> <li>2. Bcl-2 family蛋白による細胞死制御機構の解析</li> <li>3. アルツハイマー病原因遺伝子 Presenilin -1変異体の機能解析</li> <li>4. 孤発性アルツハイマー病とスプライシング異常</li> </ol>	<p>田辺製薬株式会社創薬研究所 グループリーダー 今泉 和則 － 講師 －</p> <p>大阪バイオサイエンス研究所 第4研究部 垣塚 彰</p> <p>大阪大学医学部バイオイカ教育研究 センター遺伝子学 清水 重臣</p> <p>田辺製薬株式会社 片山 泰一</p> <p>田辺製薬株式会社 佐藤 直也</p>
<p>第36回 9月9日 参加者 59名</p>	<p>『回路形成・可塑性研究の新展開』</p> <p>－ 演題 －</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中枢神経回路網の形成と再生 -培養神経細胞を中心に-</li> <li>2. 拡散性蛋白質因子によるシナプス伝達増強</li> <li>3. 神経可塑性関連プロテアーゼ・のシナプス領域における基質の探索</li> <li>4. 神経可塑性関連プロテアーゼ・ニューロプシンの変異導入体を用いた機能解析</li> </ol>	<p>奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科細胞構造学講座 塩坂 貞夫、松本 和政 － 講師 －</p> <p>通産省工業技術院大阪工業技術研究所 人間生活工学特別研究室 田口 隆久 " 工藤 卓</p> <p>奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 細胞構造学講座 松本 和政 " 岡 卓也</p>
<p>第37回 12月1日 参加者 46名</p>	<p>『脳とレプチン』</p> <p>－ 演題 －</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳内でレプチンにより誘導される新規遺伝子の探索</li> <li>2. マウス胎仔中枢神経におけるレプチン受容体 (Ob-Rb) mRNAの発現</li> <li>3. レプチンの摂食抑制作用と脳内ヒスタミ</li> </ol>	<p>和歌山県立医科大学 第二解剖 仙波恵美子 － 講師 －</p> <p>和歌山県立医科大学 第二解剖 森川 吉博</p> <p>ヘリックス研究所 若尾 宏</p> <p>島根医科大学 第一解剖 宇田川 潤</p> <p>大阪大学医学部保険学科医用物理</p>

	ン神経系 4. レプチン作用における視床下部メラノコルチン系の役割	大和谷厚 京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学 小川 佳宏
第38回 平成12年 1月28日 参加者 61名	『新しい蛋白、ペプチドの分子薬理』 — 演題 — 1. 神経損傷応答性新規遺伝子の機能析 -neuroleptを中心に- 2. 肥満におけるレプチンの生理機構と治療 薬としての可能性 3. ユニークなP-domain構造ヲ有するTFF familypeptideの生化学と機能 4. PACAPの神経系および臓器における働き	大阪大学大学院薬学研究科 複合薬物動態学分野 松田 敏雄 — 講師 — 塩野義製薬(株) 中央研究所 上部健一郎 大阪大学大学院薬学研究科 微生物動態学分野 今川 正良 大阪大学大学院薬学研究科 微生物動態学分野 寺田 知行 大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学分野 橋本 均
第39回 平成12年 2月28日 参加者 59名	『ペインリサーチにおける新知見-Part 2』 — 演題 — 1. 一次感覚ニューロンにおける遺伝子発現 の変化-慢性痛モデルを用いて- 2. 痛感認知の中樞メカニズム 3. 髄腔内投与により誘発されるアロディニア の発生機構	兵庫医科大学解剖学第二講座 野口 光一 — 講師 — 野口 光一 大阪大学歯学部口腔生理学講座 岩田 幸一 関西医科大学 医化学講座 伊藤 誠二

(2) 21世紀の薬箱

実施月日	テーマ・演題	世話人・講師
第29回 平成11年 6月28日 参加者57名	新しい治療戦略(10) 『最適な免疫療法のためのDDS』 — 演題 — ・抗原の動態制御に着目した腫瘍ワクチン開発 ・新規経粘膜ワクチンキャリアーとしての 膜融合 ・T細胞認識マウス腫瘍抗原と宿主免疫応答	大阪大学大学院薬学研究科 教授 真弓 忠範 — 講師 — 大阪大学薬学部 林 哲 大阪大学薬学部 國澤 純 岡山大学医学部 中山 睿一
第30回 9月28日 参加者27名	— テーマ・演題 — 『ネットワーク社会における 医薬品副作用情報の収集と評価・提供』	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 — 講師 — 大阪府保健衛生部 薬務科 推進係 主査 泉 博子
第31回 10月20日 参加者73名	『臨床でのくすり』 — 演題 — ・薬物代謝酵素とくすり投与の匙加減	大阪大学大学院薬学研究科 教授 馬場 明道 — 講師 — 大阪大学大学院 薬学研究科 東 純一
第32回 12月17日 参加者51名	新しい治療戦略(11) 『DDSによる薬物吸収の改善と克服』 — 演題 — ・経皮吸収の改善とその理論的設計 ・DDSによる薬物の消化管吸収改善と克服	大阪大学大学院薬学研究科 教授 真弓 忠範 — 講師 — 京都大学大学院 薬学研究科 山下 富義 京都薬科大学 薬学部 山本 昌
第33回 平成12年 1月26日 参加者20名	— テーマ・演題 — 『計量薬学』～高性能な計算機による薬学の新たな 分野～	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 — 講師 — 大阪大学大学院 薬学研究科 高木 達也
第34回 2月29日 参加者80名	『FK506(タクロリムス)の基礎と臨床』 — 演題 — ・移植免疫抑制剤としての開発の経緯 ・自己免疫疾患及びアレルギー疾患への	大阪大学大学院薬学研究科 教授 馬場 明道 — 講師 — 藤沢薬品工業(株) 研究本部 大塚 一幸 藤沢薬品工業(株) 研究本部 広井 純

	適応拡大の現状	
--	---------	--

5. 千里ライサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター名誉総長、当財団副理事長 尾前 照雄氏

開催日	テーマ・演題	座長・講師
第25回 平成11年 7月25日 参加者 128名	『超音波診断は何処まで進歩したか』 — 演題 — ・開催にあたって ・超音波診断の発達 -潜水艦の発見から病気の診断に至る- ・癌の早期診断 -超音波で癌はどのように見えるか- ・心臓血管超音波エコー法のマクロとミクロ	尾前 照雄、岡田 善雄、村上 孝二 — 講師 — 岡田 善雄 国立循環器病センター研究所 名誉所長 仁村 泰治 大阪府立成人病センター 集団検診 第二部長 田中 幸子 国立循環器病センター内科心臓部門 医長 山岸 正和
第26回 11月20日 参加者 153名	『心臓病治療の進歩』 — 演題 — ・開催にあたって ・不整脈学の変遷 -脈とり学からカテーテル根治術まで- ・心不全の治療 -現状と将来- ・心臓移植と人口心臓	尾前 照雄、岡田 善雄、村上 孝二 — 講師 — 岡田 善雄 国立循環器病センター心臓内科 栗田 隆志 国立循環器病センター心臓内科 部長 宮武 邦夫 国立循環器病センター心臓内科 名誉総長 川島 康生
第27回 平成12年 3月18日 参加者 235名	『眼の病気の予防と治療』 — 演題 — ・開催にあたって ・内科の病気と眼 ・20世紀後半における眼科治療の進歩 ・21世紀の眼の治療法	尾前 照雄、岡田 善雄、村上 孝二 — 講師 — 岡田 善雄 尾前 照雄 神戸海星病院 理事長 山中 昭夫 京都府立医科大学眼科学教室 教授 木下 茂

6. 千里ネイチャー・カレッジ

回数	開催日	テーマ名	参加者	
			生徒	関係者
第1回	7月11日（日）	『オリエンテーション』と『サルを観察（1）』	37名	24名
第2回	7月31日（土）	『植物・昆虫・野鳥の観察』	37名	27名
第3回	10月25日（土）	『サルを観察（2）』と『修了式』	38名	28名

7. 研究費助成

〈1〉奨励研究助成 9件

研究者氏名	研究テーマ
大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学 助手 猪原 英典	ELISAを用いた穿刺吸引検体におけるgalectin-3の発現解析 に基づく甲状腺良・悪性腫瘍の術前鑑別診断法の確立
名古屋大学大学院理学研究科 助手 入江 賢児	細胞多様性を生み出す非対称分裂の制御機構
大阪府立大学農学部 助手 谷 浩行	甲状腺機能低下症の遺伝子診断法に関する研究
大阪大学大学院薬学系研究科 助手 中西 剛	環境化学物質に対するin vitroヒト胎盤関門毒性評価系の確立およびその作用機構の解明

大阪府立母子保健総合医療センター 主任研究員 中村 紀彦	ATP枯渇によって誘導される細胞死に関する研究
大阪大学歯学部生化学講座 助教授 西村 理行	脂肪分化促進因子PPAR $\gamma$ による骨形成の制御機構の解明
自治医科大学分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部 講師 花園 豊	カニクイザルを用いた選択的増幅遺伝子の前臨床研究
大阪大学大学院医学系研究科 分子病態内科学講座 助手 廣田 久雄	心筋におけるサイトカインの分子制御
大阪大学大学院医学系研究科 生化学 助手 三好 英知	インテグリンの糖鎖修飾を介した癌細胞の focal adhesionと細胞内シグナルの解析

〈2〉共同研究助成 1件

研究代表者氏名	共同研究先	研究テーマ
大阪大学大学院医学系研究科分子病態内科学(第二内科) 助手 富山 佳昭	藤沢薬品工業株式会社	$\beta$ 3インテグリンを分子標的とした新たな病的血栓制御法の開発

8. LFニュース (財団広報誌)

発行月	タイトル	内容
No. 28 平成11年 5月	Eyes	『人間の脳を見る』 一脳磁計で前頭連 合野の神経細胞の活動を計測する一
	LF対談	『脳の高次機能の解明に向けて』 岡崎国立共同研究機構生理学研究所 所長 佐々木 和夫
	LF市民公開講座より	成人病シリーズ第23回 『がん識る』
	“解体新書” Report	生命科学のフロンティア その15 『ニホンミツバチの不思議を探る』 玉川大学農学部 教授 佐々木 正己 (レポーター：東京理科大学 教授 牧野 賢治)
	千里LFだより	人材育成事業“新適塾”「千里神経懇話会」と「21世紀の薬箱」
	Information Box	平成10年度研究助成金交付者/セミナー・市民公開講座・フォーラムのお知らせ/出捐企業一覧/LF Diary/編集後記
	Relay Talk	『教育・研究一筋の歩み』 大阪大学 名誉教授・岡山理科大学 教授 望月 和子
No. 29 9月	Eyes	『心ある科学時代へ』 一脳生理学や情報科学の成果とも整合する「唯識」一
	LF対談	『いのちに関わる科学と宗教』 大阪大学 名誉教授 泉 美治
	LF市民公開講座より	成人病シリーズ第24回 『アレルギーとの付き合い』
	“解体新書” Report	生命科学のフロンティア その16 『生命の形つくりの謎を追う』 東京大学大学院総合文化研究科 教授 浅島 誠 (レポーター：東京理科大学 教授 牧野 賢治)
	千里LFだより	千里ライフサイエンスフォーラム 生命科学の心地よい雰囲気が漂うサロンフォーラム
	Information Box	セミナー・シンポジウム・市民公開講座・技術講習会・フォーラムのお知らせ/出捐企業一覧/LF Diary/編集後記
	Relay Talk	『ノイマンとライフサイエンス』 大阪大学 名誉教授 三井 俊夫

No. 30 平成12年 1月	Eyes	『がん発生のメカニズムは？』 ー発ガンの原因となる遺伝子はガンウィルスの研究から見つ かったー
	LF対談	『ガンウィルスからガン遺伝子へ』 (財)大阪バイオサイエンス研究所 所長 花房 秀三郎
	LF市民公開講座より	成人病シリーズ第22回 『ライフスタイルと循環器病』
	“解体新書” Report	生命科学のフロンティア その14 『市民とつくる生きもの地図』 神奈川県平塚市博物館 学芸員 浜口 哲一 (レポーター：東京理科大学 教授 牧野 賢治)
	千里LFだより	千里ネイチャー・カレッジ “見て” “触れて” “考える” 自然体験学習
	Information Box	セミナー・市民公開講座・技術講習会・フォーラムのお知らせ/出捐企業 一覧/LF Diary/編集後記
	Relay Talk	『ミューズポートプログラム』 大阪国際文化協会 会長 高橋 叡子

### 9. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	講演	講師名(所属)
81 平成11年 4月23日 参加者23名	『文と武ー東アジアを見る眼』	国立民族学博物館 館長 石毛 直道
82 5月19日 参加者28名	『卑弥呼の鏡と古墳』	大阪大学文学部 教授 都出比呂志
83 6月24日 参加者37名	『最新栄養学情報：食生活でエイジング (加齢)を遅らせることができる』	辻学園栄養専門学校中央研究室 教授 広田 孝子
84 7月23日 参加者34名	『アメリカの土壌と科学』	大阪バイオサイエンス研究所 所長 花房秀三郎
85 8月27日 参加者25名	『増えている肺結核～その背景と対策』	国立療養所刀根山病院 院長 小倉 剛
86 9月22日 参加者37名	『NPO(非営利組織)と21世紀』 [KRFとのジョイントフォーラム]	大阪大学副学長・大学院経済学研究科 教授 本間 正明
87 10月27日 参加者16名	『エルニーニョと異常気象』	(財)日本気象協会関西本部 総務部部長代理 気象予報士 大藤 明克
88 11月19日 参加者26名	『体細胞クローン動物作出研究の現状』	近畿大学農学部畜産学研究室 教授 角田 幸雄
89 12月10日 参加者20名	『文化財保存と水』	国立文化財研究所埋蔵文化財センター センター長 沢田 正昭
90 平成12年 1月27日 参加者21名	『日本酒造りの匠の技を科学する』	菊正宗酒造(株) 常務取締役総合 研究所長 原 昌道
91 2月25日 参加者26名	『楽器が示す文化の流れ』	大阪音楽大学付属楽器博物館 館長 高橋 浩子
92 3月16日 参加者32名	『遊牧民から見た世界史 世界史を西洋から 東洋に取り返す試み』	大阪大学文学部 教授 森安 孝夫